



広報

春日井

平成27年5月1日
2015年 No.1562
Kasugai Public Relation



特集

文化やスポーツで

人・夢創り



かすがい「人・夢創り」文化スポーツ大使が
室田伊緒さんから井原慶子さんに引き継がれました

文化やスポーツで人・夢創り

春日井市の魅力を発信し、さまざまな活動を通して市民の皆さんに夢や希望を与えるかすがい「人・夢創り」文化スポーツ大使の引継式を3月19日(木)に行いました。そこで今回は、文化やスポーツを通して子どもたちの人づくり、夢づくりを応援する市の取り組みを紹介します。

文化スポーツ大使
室田伊緒さんから
井原慶子さんへ

今回、2代目の大使で将棋の女流棋士室田伊緒さんから、レーシングドライバーの井原慶子さんに引き継がれました。新旧2人の大使と市長の3人が、春日井市への想い、これからの抱負などを語り合いました。

大使を務めた3年間の思い出 ●●●●●●

室田さん：一番印象に残っているのは、春日井まつりに毎年参加させていただいたことです。以前は市民として、まつりを外から楽しんでいましたが、大使として参加することで、市と市民が協力し合って成り立っていたということを実感しました。マラソン大会のスターターを務めたことや、将棋フェスティバルでの活動も貴重な体験でした。

プロフィール

将棋の女流棋士。第36回女流アマ名人戦で優勝。平成17年にプロ入りし、現在女流二段として活躍中。春日井市出身。



Ito Murota

Keiko Ihara

大使としてこれからの抱負 ●●●●●●

井原さん：日本は、車を使ったイベントや文化活動が根付いていないと感じていますので、春日井から発信できたらと思います。昨年、春日井広報大使としてイベントに参加し交通安全をPRした結果、以前に比べて自動車の運転マナーが良くなったという声を聞きました。安全を呼び掛けることで、人の意識が変わり、それが文化となり、まちの安全につながることを実感しました。この意識が春日井から日本へ、日本から世界へ広がっていけばと思っています。

プロフィール

元レースクイーンで唯一の女性ドライバーとして世界耐久選手権(WEC)などに参戦。平成26年、自動車レースの世界最高峰ル・マン24時間レースで、日本人女性初の完走を果たしただけでなく、日本人最高位の総合14位、クラス9位入賞。現在、慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科准教授も務めている。

市長：室田さんは、春日井まつりのサポートや一昨年の市制70周年のイベントとして開催した将棋フェスティバルに参加していただくなど、さまざまな場で活躍してくださいました。改めて、3年間ありがとうございました。

井原さんは、昨年、ル・マン24時間レースでの入賞をはじめ輝かしい成績を残されました。また、春日井広報大使として、春日井ナンバーの啓発活動にもご協力をいただきました。今後は、持ち前の明るさとバイタリティーで、文化スポーツ大使としてもご活躍いただきたいと思います。



春日井市への想い

室田さん：現在大阪に住んでいますが、月に1度は春日井に帰ってきています。生まれ育ったまちでもあるので、やっぱりほっとします。帰る度に、春日井の雰囲気はあたたかいと感じます。

井原さん：春日井は私の運命を変えたまちです。交通の便が良い上に、自然も近くにあるバランスのとれた環境に引かれて、春日井に住むことを決めました。引っ越して、環境の良さに加え、地元の皆さんと出会い、そして応援して下さったことは、レースへ出場し、勝ちたいという意欲を高めてくれました。特に昨年は、いつも支えてくださる地元の皆さんに囲まれてレースに臨むことができたこともあって、これまで以上の成績を残すことができました。



子どもたちへメッセージ



室田さん：将棋の世界でいえば、今年の4月から、女流棋士が愛知県から1人増えます。身近にトップクラスの選手がいることは刺激になると思うので、棋士を目指してくれる子が増えることを願っています。そして、将棋に限らず、何にでも興味を持って自分の楽しめることを見つけていっていただければうれしいです。

井原さん：やってみたいこと、目標が頭に思い浮かんだら、ぜひチャレンジしてください。時間がかかったとしても必ず自分の願いは叶うので、簡単に諦めないという気持ちを持ち続けてほしいと思います。

市長：自分なりの夢を持って、努力し続けることは大切だということですね。お二人は、まさに「人・夢創り」のお手本です。子どもたちがその活躍される姿を見て、夢を抱き、挑戦することで健やかに成長し、市の文化・スポーツの発展につながることを望んでいます。

文化の力

共感する心や相互に理解し合う土壌を作り、生活に元気や潤い、ゆとりを与えてくれる文化。また、地域に根差した文化活動は、郷土への愛着や誇りを深め、地域社会の連帯感を強めてくれます。市では、平成26年3月に改定した「かすがい市民文化振興プラン」に基づき、文化でつながるまち・春日井を築くため、さまざまな取り組みを行っています。

問い合わせ 文化課 (☎85-6079)、かすがい市民文化財団 (☎85-6868)

鑑賞する

幅広い世代の人に、より優れた文化芸術に触れる機会を提供するために、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施しています。プロの芸術家たちの、高い創造性や技術力に生で触れることによって感受性が刺激され、豊かで味わい深い心を育みます。鑑賞は、文化芸術に触れる、始めの一歩です。



コンサート



クラシックバレエ



歌舞伎

©松竹

青少年向けの鑑賞サポートを実施

かすがい市民文化財団の主催事業では、子ども向けの料金設定やU-18割引、無料招待などを行っています。詳しくは問い合わせてください。

鑑賞ボランティアに聞きました

かすがい文化財団レポーター 野口颯一郎くん(中2)

小さい頃から音楽に興味があったので、レポーターの活動があると聞きやってみたくらいと思い、始めました。今までは、目の前でオーケストラを聴いたりする機会がなかったので、レポーターとしての活動は貴重な時間で、毎回楽しみながらやっています。中学生、高校生でレポーターをやっている人は少ないので、まずは活動を知ってもらうことと、僕が書いた記事を読んで、少しでも文化の良いところを感じてもらい、興味を持ってもらえる人が増えたらと思っています。





体験(参加)する

市内の文化拠点である市民会館や文化フォーラム春日井、道風記念館、学校や地区公民館などで、さまざまな文化・芸術を体験する機会を設けています。中でも、子どもたちの心豊かな成長を願って、特色あるプログラムを充実させています。

アーティストのお出掛け ●●●●●

一流の音楽や美術、舞台芸術などに触れ、体験してもらうことを目的として、プロの芸術家たちが小中学校や高校へお出掛けし、授業や指導を実施しています。普段、触れ合う機会のないトップレベルのアーティストの指導は、新たな感動と、明日へのやる気につながっています。

また、文化・芸術に触れる機会を多くの市民の皆さんに提供するとともに、身近な場所で手軽に親しんでもらうために、「あ〜とふるマイタウン」事業を実施しています。市内外で活躍する芸術家を、学校、福祉施設、地区公民館などへ派遣しています。



文化体験道場 ●●●●●

日本の良さである礼節や道徳、人を思いやる心や感謝の気持ちを育むため、次世代を担う子どもたちに茶道、華道、日本舞踊などの伝統文化に親しんでもらうとともに、その役割・素晴らしさを再認識してもらうことを目的として、小学生を対象に実施しています。

企画展「おののとうふう」 ●●●●●

夏休みに開催する企画展「おののとうふう」では、春日井で生まれたといわれる小野道風を、小学生にも分かりやすく紹介します。会期中には、うちわに字を書いたり、書の実技指導を受けるワークショップを開催しています。



舞台制作セミナー ●●●●●

文化芸術を支える人材を育成し、市民自らの手で行う文化事業を支援するため、舞台演出や照明操作をはじめとする舞台制作のセミナーを開催しています。特に、学生自ら舞台公演を手掛けている、高校吹奏楽部に人気のセミナーです。

スポーツの力

爽快感、達成感、楽しさ、喜びを与えてくれるスポーツ。市では、明るく豊かで活力ある「スポーツ都市春日井」を築くため、さまざまな取り組みをしています。中でも、生涯にわたってスポーツに親しむきっかけをつくり、次世代へスポーツの楽しさや喜びを伝える力を育む子どもたちを対象としたイベントや教室を紹介します。

問い合わせ スポーツ課 (☎84-7117)、市スポーツ・ふれあい財団 (☎84-7101)

一流にふれる

トップレベルの選手やプロ選手による教室を開催し、直接指導を受けることにより、子どもたちに夢や希望を与え、スポーツに取り組む意欲や競技力の向上、そして選手の育成につなげています。

春跳会

剣道

トップレベルの選手(指導者)を招き、小中学生を対象に錬成会を開催し、剣道の技術とともに、礼儀なども学びました。



先生、参加者に感想を聞きました

参加者の声

佐波朱音さん(中3)

日本を代表する佐久間先生に直接教えてもらうことができ、とても貴重な経験になりました。「一所懸命」という言葉を教えてもらい、これからも一つ一つの行動を大切にしていこうと忘れないでいたいと思いました。市内の高校へ進学するので、全国高等学校剣道選抜大会へ出場して良い成績を残し、「剣道のまち春日井」をさらに有名にしていきたいです。



佐久間陽子先生

(世界大会団体優勝2回・個人優勝)

初めて開催されたイベントと聞きましたが、本当に多くの小中学生が集まってくださり、驚きました。このイベントをはじめ、高校の選抜大会も行われているまちでもあって、来る度にさすが「剣道のまち春日井」だなという印象を受けます。子どもたちが楽しんで剣道をやることで、さらに盛り上がっていくと思うので、興味のある子たちには、ぜひ剣道に親しんでもらえればと期待しています。

ボールゲームフェスタ in かすがい

日本トップリーグ連携機構に所属するチームや指導者を招き、体を動かす楽しさを体験しながら基本的な技術の取得や技術力を向上させる機会を提供し、子どもたちのスポーツライフを支援しています。





体験する

親子や仲間と楽しく、さまざまなスポーツに挑戦することで、運動をする習慣を身に付け、スポーツの素晴らしさや感動を味わう機会を増やしています。

レクリエーションスポーツ祭

誰もが仲間や家族と楽しめるいろいろなレクリエーションスポーツを体験してもらうため、各地域で活動するスポーツ推進委員などが中心となって開催しています。



かすがい! スポーツフェスティバル

体力測定や各種チャレンジコーナー、スポーツ教室、体育施設の無料開放などを行い、幅広い年齢層の人がいろいろなスポーツを楽しめる体育の日にふさわしいスポーツ体感デーとして開催しています。

新春春日井マラソン大会

楽しみながら健康増進と体力づくりを図り、家族や参加者相互の交流を深めるため、新春を飾るスポーツの祭典として開催しています。今年の大会では、競技、ジョギングの部に分かれ、7800人を超える参加者がそれぞれの目標を目指して市街地を走りました。



観戦する

一流選手によるレベルの高いスポーツ観戦の場で、会場と一体となった臨場感あふれるスポーツの醍醐味を味わうことによって、新たなスポーツの楽しみ方に触れ、スポーツを「見る」ことから「する」ことへの動機づけにもつなげています。

V・プレミア女子 春日井大会

バレー
ボール

日本最高レベルの質の高いスポーツ観戦の場を提供するとともに、小中学生を対象とした教室も開催し、一流選手から直接指導を受ける機会を設けています。

NBDL 春日井大会

バスケット
ボール

一流選手による迫力あふれるプレーの観戦の場を提供するとともに、前座試合として市内中学生による東西対抗戦を開催し、競技の普及、啓発、競技力の向上を図っています。



集まれ！げんきっこー
～輝く笑顔大集合～

わいわい カーニバル KASUGAI

5月10日(日)
午前9時45分
～午後3時

※雨天一部中止

問い合わせ 子ども政策課 (☎85-6151)

落合公園を中心に、広い会場のあちこちでさまざまな遊びや体験ができる「わいわいカーニバル」を今年も開催します。ステージショー、子どもたちが描いた絵や立体作品の展示などのイベントが盛りだくさんです。家族や友達みんなで1日楽しく過ごしましょう。

落合公園

- 空き缶フィッシングにチャレンジ
- スーパードッジボール大会
- 巨大トンネル迷路
- ナガケン組ステージ（噴水西側） など

春日井広報大使・
タクマさんがやってくる



- イリュージョンマジックショー
- マジック教室

落合公園体育館

- 押花のコースター作り
- お絵かき教室 など

三ツ又ふれあい公園

- 昭和の遊び体験&立体パズル
- バルーンアート
- 忍者修行にチャレンジ など

グリーンパレス春日井

- 手作り工作とゲームにチャレンジ
- ソフトテニスボール打ち など

ふれあい緑道

- ふれあい作品展

※一部のイベントには整理券の配布があります。時間など詳しくは市ホームページをご覧ください。

駐車場には限りがありますので、公共交通機関を利用してください。

また、JR高蔵寺駅北口、名鉄味美駅、JR勝川駅、JA尾張中央不二支店前の各バス停を始発とした無料シャトルバスを運行します。ぜひ利用してください。

当日の問い合わせ

開催案内 (☎0180-99-5111)、落合公園案内所 (☎080-2600-2366)
三ツ又ふれあい公園案内所 (☎080-2600-2367)



内津文化財祭

(文化財課 ☎ 33 - 1113)



内々神社は、市内でも随一の由緒ある神社で、社殿と庭園は県指定の文化財となっています。豊かな内津の新緑の中で、歴史ある文化財に親しんでみませんか。

時 5月10日(日)午後1時～3時30分

場 内々神社(内津町)

内 御舞台など指定文化財の展示、三十六歌仙額の公開、社殿・庭園・すみれ塚ガイド、短歌などの投句、茶会(呈茶券400円)

協 力:内々神社文化財保存会、市茶道連盟協会、春日井文化財ボランティアの会

尺八奏者 森故山、奥村耕山による演奏

時 午後1時15分～2時

曲 目:「鶴の巣籠」「春の海」など



街づくり支援制度 ～狭い道路で困っていませんか？

(都市政策課 ☎ 85 - 6265)

街づくり支援制度とは

生活道路(公道)などの身近な施設の整備改善のため、地域の皆さんが主体となって取り組む街づくり活動について、市が支援を行う制度です。

この度、地域の実情にあわせ、用地の買い取りや建物の補償など、支援の内容をより充実させ、利用しやすい制度へと見直しました。道路(公道)が狭いなどで困っている地域の皆さん、気軽に相談してください。

制度を活用した皆さんの声 (廻間町向地区)

近所の皆さんと協力し協議会をつくってから2年で道路が広がりました(幅員約2m→4m、延長178m)。

毎日通学する学生さんや近所の皆さんが、安全に通行できるようになり喜んでくれたことをとてもうれしく思います。



3月1日(日)に完成式典が行われました



整備前



整備後

市と市民の総合治水対策で 水害に強いまちに



問い合わせ 河川排水課 (☎85-6361)

毎年のように、全国各地で集中豪雨による被害が発生しています。春日井市でも、昨年8月に集中豪雨による浸水被害がありました。5月15日は総合治水の日、5月15日から21日までは総合治水週間です。梅雨を迎える前に、水害への備えを考えましょう。

総合治水対策を進めています



市内では、地域の開発と河川改修を一体と考えた総合治水として次のような対策を進めています。

- 国や県では、庄内川・八田川などで洪水・氾らんを起こした箇所での河川改修を行っています。
- 市では、雨水調整池や雨水を流す雨水管の整備、透水性アスファルトの採用、水防用の排水ポンプの設置などを行っています。また、一定規模以上の開発行為などに対して、雨水流出抑制の指導を行っています。



一人一人ができる総合治水対策



市では、総合治水の一環として、雨水貯留浸透施設（雨水貯留施設、雨水浸透施設、浄化槽転用施設）を設置する人に、費用の一部を補助しています。

補助額 …1施設につき補助対象経費の2分の1

種 類	容量区分	1基あたりの上限額	複数設置する場合の 合計の上限額
雨水貯留施設	100ℓ以上200ℓ未満	2万5000円	10万円
	200ℓ以上500ℓ未満	4万円	
	500ℓ以上	6万円	
雨水浸透施設	—	1万5000円	15万円
浄化槽転用施設	3㎡未満	7万5000円	
	3㎡以上10㎡未満	10万円	
	10㎡以上	15万円	

地域の共助で水害から 身を守りましょう

大雨や洪水の危険が迫った時には、確実な情報の入手と、地域の皆さんによる声掛けや避難が、被害を最小限に抑える鍵となります。そのため、日頃から地域の独自の防災体制を考えておくのも一つの方法です。

水防訓練を行います

問い合わせ 河川排水課 (☎85-6361)

時 5月31日(日) 午前9時から
場 山王小学校
内 水防工法訓練、避難訓練、
避難所設営訓練



地域で防災マニュアルを作りましょう

問い合わせ 市民安全課 (☎85-6072)

各地域での防災体制を考えるための参考となるよう、市では平成24年9月に「地域における市民防災マニュアル作成の手引き」(*)を作成しました。

また、防災マニュアルを作成し、これに基づいた防災体制などを整備した地域などに対して、マニュアルの印刷費用や備蓄食糧などの購入費用の一部について補助を行う「地域防災組織支援事業」も行っています。

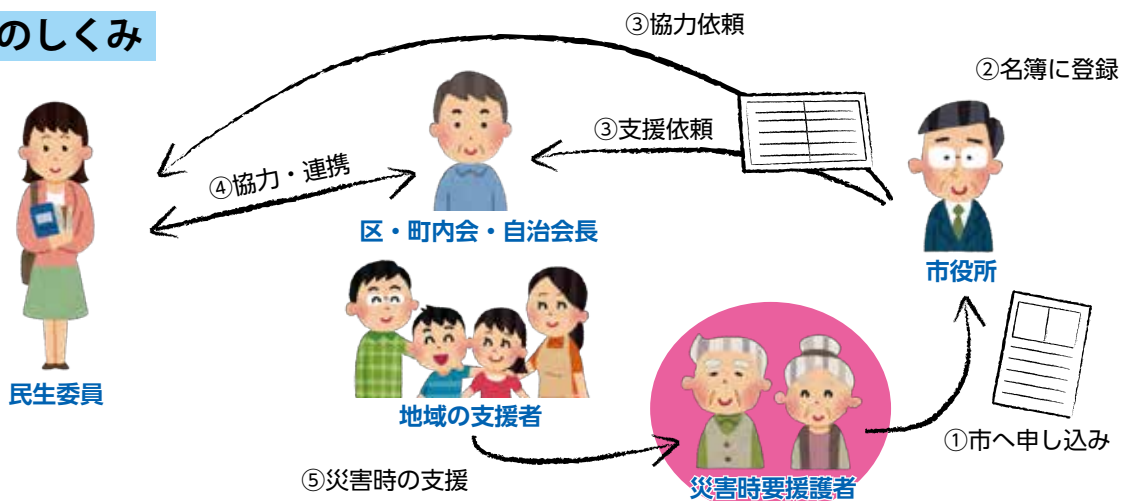
※市民安全課や各公民館、各ふれあいセンターなどに設置

災害時要援護者支援制度に協力してください

問い合わせ 高齢福祉課 (☎85-6184)

災害時にひとり暮らし高齢者や障がいのある人などが迅速に避難するためには、地域の皆さんの支援が必要です。市では、災害時に支援が必要な人に対する避難支援などの協力を、区・町内会・自治会などをお願いしています。地域の支え合い、助け合いにぜひ協力してください。また、支援が必要な人の申し込みは随時受け付けていますので、相談してください。

支援のしくみ



平成28年4月1日採用の

技術職員・医療職員を募集

平成28年4月1日採用の市職員を募集

技術職員(市役所)

募集職種	採用人数	受験資格
土木技師	3人程度	平成元年4月2日以降に生まれ、大学を卒業したか平成28年3月までに卒業見込みの人
建築技師	1人程度	
化学技師	1人程度	
機械技師	1人程度	
電気技師	1人程度	

- 教養試験なし
- 専門試験と自己PRで勝負
- 夏には最終合格発表



試験	○第1次…5月31日(日) ○第2次…6月28日(日)に予定 ※詳細は市ホームページ掲載の募集要項を見てください。
受験申込書	人事課、市ホームページ、坂下出張所、東部市民センター、各ふれあいセンターに用意 ※郵送で請求する場合は「受験申込書の請求」と朱書した封筒に、返信用封筒(角2サイズに、住所、氏名を書いて120円分の切手を貼ったもの)を同封して人事課へ
申し込み	【持参】 5月1日(金)～20日(水)〈土・日曜日、祝休日を除く〉午前8時30分～午後5時に、人事課へ 【電子申請】 5月1日(金)午前9時～18日(月)午後5時に、市ホームページから 【郵送】 5月15日(金)〈消印有効〉までに、人事課へ
郵送・問い合わせ	〒486-8686春日井市人事課(☎85-6021)

医療職員(市民病院)



募集職種	採用人数	受験資格
薬剤師	3人程度	昭和62年4月2日以降に生まれ、免許を取得しているか、平成28年4月末までに取得見込みの人
理学療法士	1人程度	平成元年4月2日以降に生まれ、免許を取得しているか、平成28年4月末までに取得見込みの人
言語聴覚士	1人程度	昭和46年4月2日以降に生まれ、社会福祉士として10年以上の実務経験を有する人
社会福祉士	1人程度	

試験	○第1次…6月27日(土)教養試験、適性試験、性格検査 ○第2次…7月11日(土)面接試験 ※詳細は市民病院ホームページ(http://www.hospital.kasugai.aichi.jp/)掲載の募集要項を見てください。
応募書類	○免許を取得している人…市販の履歴書(顔写真貼付)、免許証の写し(社会福祉士は登録証)、健康診断書 ○免許を取得見込みの人…市販の履歴書(顔写真貼付)、卒業(見込み)証明書、成績証明書、健康診断書(在学中の学校で1年以内に受けたものも可)
申し込み	5月18日(月)～6月19日(金)〈必着〉に、直接(土・日曜日を除く午前8時30分～午後5時)か郵送で、市民病院管理課へ
郵送・問い合わせ	〒486-8510鷹来町1-1-1、市民病院管理課(☎57-0046)

お知らせ

休日法律相談を実施します 市民相談コーナー(☎85-6620)

民事などに関する法律問題について、弁護士が相談を受けます(予約制、25分以内)。
時 5月10日(日)午後1時～4時

5月11日～20日は春の交通安全運動 交通対策課(☎85-6052)

次の重点実施項目に沿って運動を展開します。
 ○子どもと高齢者を交通事故から守ろう○自転車の安全利用を進めよう○全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう○飲酒・薬物運転を根絶しよう



土地区画整理変更事業計画の縦覧 都市整備課(☎85-6318)

時 月～金曜日(祝休日、年末年始を除く)午前8時30分～午後5時15分
事業名：尾張都市計画事業松河戸土地区画整理事業

尾張都市計画下水道事業計画変更の縦覧 企画経営課(☎85-6347)

時 月～金曜日(祝休日、年末年始を除く)午前8時30分～午後5時15分
内 尾張都市計画下水道事業春日井公共下水道の事業計画変更

外国人向け市政情報紙を発行しています 広報広聴課(☎85-6036)

毎月、広報春日井15日号の発行に合わせて、広報の内容を抜粋し、英語、ポルトガル語、中国語に翻訳した外国人向けの情報紙「Information Kasugai」を発行しています。
配布場所：市役所情報コーナー、坂下出張所、東部市民センター、各ふれあいセンター、各公民館など



教育委員会定例会の公開 教育総務課(☎85-6436)

時 5月20日(水)午後1時30分から
場 市役所教育委員会室 **定** 10人(先着順)
申 当日午後1時から、教育総務課へ

生ごみ処理機購入費補助 ごみ減量推進課(☎85-6222)

家庭での生ごみ減量対策に利用してください。条件などがありますので、必ず事前に説明を受けてください。
内 電動式か手動式の家庭用生ごみ処理機 ※生ごみ堆肥化容器(コンポスト)、密閉バケツ、脱水機、デスポーザーは対象外
対 市内在住の人(1世帯につき1台)
補助額：購入金額(消費税込み)の2分の1(100円未満切り捨て)で上限2万円 ※配達代金、付属品(基材など)は対象外



募集

道風の書臨書作品 道風記念館(☎82-6110)

春日井に誕生伝説が残る小野道風の書を原寸大で臨書し、道風の書を現代によみがえらせましょう。入賞作品は道風記念館で展示します。
課題：○一般の部…小野道風筆玉泉帖、伝藤原佐理筆筋切
 ○高校生の部…小野道風筆智証大師諡号勅書、伝小野道風筆本阿弥切 ※課題部分は範囲指定。詳しくは募集要項(道風記念館、市ホームページに用意)を見てください。
応募方法：10月30日(金)〈必着〉までに、出品票(道風記念館、市ホームページに用意)に記入し、作品と出品票を道風記念館へ

男女共同参画情報紙「はるか」の広告 男女共同参画課(☎85-4401)

掲載位置：裏表紙
規格：1色刷り(色指定不可)、縦30mm×横80mm
枠数：4枠 ※隣り合う2枠か4枠全てを併せて掲載可
作成部数：1万3500部 **掲載料**：1枠1万円
申 5月31日(日)までに、申込書(市ホームページに用意)に記入し、広告案を添えて、男女共同参画課へ ※審査後、抽選により決定

写真で見る かすがい

4/4 (土)
5 (日)

サボテンの話 に花が咲きました (落合公園)

「癒しと健康」をテーマに行われたサボテンフェア。最近、観賞用サボテンがブームとなっているようで、販売コーナーには家族連れや友人同士など大勢の人が、さまざまな色や形のサボテンから好みのものを選び、寄せ植えをしていました。



4/5 (日)

増やしていこう オリジナルの樹名板 (落合公園)

落合公園に植えられている、約90種類の桜の木に飾る樹名板づくりが行われました。参加者は、試行錯誤しながら木の板にペンキで品種名を描き、手作りの樹名板を完成させました。これから毎年開催し、少しずつ増やしていく予定です。



移動スーパーマーケット道風くん

買い物をするのは誰もが楽しいものです。今ではインターネットを使えば、どんなものでも買うことができます。便利な世の中になりました。しかし、そこには会話はなく品物に触れることはありません。また、インターネットを使えない方も多いと思います。

テレビ番組で、過疎となった山村の家に魚や日用品をトラックに積んで売りに行くお店を取り上げていました。子どものころ、自転車の荷台に、大きな籠を載せて各家庭を回り、いろいろな話をしながら雑貨品を売っていた人を思い出しました。子ども心に待ち遠しかったものです。

春日井市の人口は31万人を超え、今もわずかですが増えており、ショッピングセンターが新たにできた地域もあります。一方で、昭和40年代にできた団地や一部の地域では、お店の撤退などで買い物に不便なところも出てきました。

買い物の支援をしたい、それだけでなく家から外に出てほしい、隣近所の人と話をしてほしい、このような思いを抱き、市役所、観光コンベンション協会、商工会議所、商店街連合会が一体となって、町内会の役員さんの声を聞きながら市場調査を行い、会議に会議を重ねて移動スーパーマーケット道風くんがスタートしました。販売されている現場に行きましたが、そこには、買われた品物を持った人たちの笑い声と温かい空気がありました。

買い物支援が、多くの幸せにつながることを期待しています。



創 春日井

2015 想



市長 伊藤 太

休日・平日夜間急病診療所

場所	総合保健医療センター(鷹来町1)	☎84-3060
----	------------------	----------

診療科目	診療時間		
	平日夜間	土曜日	日・祝休日
内科・小児科	21:00～23:30	18:00～21:00	9:00～12:00、 13:00～17:00、 18:00～21:00
外科	—	—	18:00～21:00
歯科	—	—	9:00～12:00

○受け付けは、いずれも終了30分前まで、保険証、受給者証、現金などが必要です。
○薬は原則1日分しか出ませんので、翌日以降にかかりつけ医か専門医を受診してください。
○夜間の子どもの急病時、受診を迷った場合は、県小児救急電話相談(毎日19:00～翌8:00、☎#8000(短縮番号)か052-962-9900)へ
○かかりつけ医や休日・平日夜間急病診療所などで受診できない場合や受診先が分からない場合は、県救急医療情報センター(☎81-1133)へ

日曜日・平日時間外の市役所業務

業務を行っている課	業務内容	月日	時間
市民課 ☎85-6136	戸籍届、住民異動届、印鑑登録、住民票などの証明書の発行	5/10、 24、31	8:30～12:00、 13:00～17:00
市民税課 ☎85-6093	所得、課税、非課税、扶養、事業所の各証明書の発行		
保険医療年金課 ☎85-6156	国民健康保険加入・喪失の届け出	5/10、17	9:00～12:00、 13:00～16:00
収納課 ☎85-6111	納付・納税相談	24、31	

毎週水曜日(祝休日、年末年始を除く)は、収納課19時まで、市民課19時30分まで上記の業務を行っています。取り扱い業務など詳しくは問い合わせてください。

市税等の納期限

・軽自動車税

納期限▶6月1日(月)

最寄りの金融機関やコンビニエンスストアで納付してください。

火災情報 ☎0180-995-999

まちの動き

人口	31万0358人	(+525)
世帯数	13万0435世帯	(+1418)
平成27年4月1日現在()内は前年同月比		
救急件数	1097件	(3441件)
火災発生件数	8件	(27件)
交通事故死亡者数	0人	(3人)
平成27年3月()内は1月からの累計		

水道修繕

公道

平日 8:30～17:15

水道工務課 ☎85-6420

土・日曜日、祝休日、夜間

市役所守衛室 ☎81-5111

宅地内(有料)

管工事業協同組合(☎83-8288)
か市指定給水装置工事事業者
※アパート、マンションなどは、事前に管理者へ

名前が示すように、開拓当時は移住者が六戸だったところから名が生まれたといわれています。移住者は、主に美濃(現岐阜県)からの人でした。当初一帯は東野新田といわれ、鷹狩りも行われる原野でした。開拓に着手されたころの寛文三年(一六六三)に下原新田となりました。六軒屋の開拓着手はいつごろかはつきりしませんが、やがて下原新田の一つの島(部落)を形成したことが、「尾張徇行記」で確認できます。同書は文政年間(一八二二～二三年ごろ)のもので「此新田(下原新田)ハ西島東野島池合島六軒屋島鳥居松島ト五ヶ所ニ散在セリ」とあり、六十戸ほどの部落だったことも分かります。町として独立するのは、昭和二十三年のことになります。

六軒屋(ろっけんや)

春日井の地名物語

